

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

朝来市長 藤 岡 勇

市町村名 (市町村コード)	朝来市 ( 282251 )	
地域名 (地域内農業集落名)	朝来市朝来(中川)地域 ( 桑市区 )	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年2月23日 (第3回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。  
 注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

現在、当地区の主たる耕作農業者は5名で平均年齢は78.5歳である。内、後継者があるのは1名のみである。また、農地所有者の中から将来農業を始めようとする人も期待が持てない状況である。将来の農地の維持管理や区内の環境保全に大きな不安がある。唯一の後継者は今春から地域内で営農活動を開始する予定である。

(2) 地域における農業の将来の在り方

主要な作付け作物は水稻が主体で、黒大豆も栽培されている。地区内の圃場は湿田が相当あることから今後も水稻を中心とした農地の利用を継続する。一部には乾田があり、この圃場を活用した黒大豆・岩津ねぎ等の栽培を広げ全体的な農地の活用を展開する必要がある。これらの農地の状況を踏まえて、地域内の農業者の営農活動が継続出来るよう支援を行うとともに、将来の担い手については他地区の認定農業者等に農地の総合的な利活用を要請し地域の農地を守ることにする。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	16.84 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	10.57 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

区内の農地を中心とした区域を設定した。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
地域内の農業者の営農継続年数によって目標値は変化するが、地域の営農状況から見ると、農地を集積・集約しなければならないと考えている。今後5年頃から離農が進むことから目標年度を令和12年度として見直しを行う。
(2)農地中間管理機構の活用方針
地域内の農業者の営農継続年数や要請を行おうとする担い手の応諾条件等によっては、農地バンクへの貸し付け面積、活用年次は変わってくるが、農地所有者の意向を普段からは把握しておく等の対応をとる。
(3)基盤整備事業への取組方針
地区内の圃場は各所で用排水路の補修が必要な状況となっている。1年を通じて安定した給水量の確保が必要な状況である。水路の清掃に多くの労力がかかるため、将来の維持管理に不安があり、パイプ給水方式を検討したい。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
担い手の要請にあつては、農業に意欲がある認定農業者にお願いしたいと考えている。併せて近隣の若手農業者との情報交換を行うなど担い手の育成にも協力をする。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
今後の地域内の農業の展開状況により活用できる作業は検討を行う。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①侵入防止策の保守管理は多面的交付金を活用して、地区内農業者が主体となって作業を実施している。
- ⑦農地の保全管理を定期的実施するためには、農地所有者、耕作者が協力して実施する体制を定着させる取り組みの実施
- ⑧農業施設の保守管理は、区民による春季の水路の泥上げ・農道の草刈り一斉作業を行い管理に努めている。年間を通じては、農業者が主体となり農道及び農地周りの草刈り等を実施して環境維持に努めている。